



筑波大学遺伝子実験センター
形質転換植物デザイン研究拠点
研究セミナー (55)



日時 : 2020年6月18日(木) 16:00-17:00

場所 : オンラインで実施 (詳細別途参照)

生体高分子の X 線結晶構造解析に 向けたコンストラクトデザイン戦略

野崎 翔平

筑波大学 生命環境系・つくば機能植物イノベーション研究センター 助教

昨今の周辺技術の目まぐるしい発達により、タンパク質や核酸など生体高分子の構造解析への敷居は確実に低くなっている。しかしながら、タンパク質の種類によっては (特に植物のタンパク質においては)、構造解析に適した質の高い試料の十分な確保がボトルネックとなる場合がある。

本セミナーでは、これまで発表者が取り組んできた植物の転写制御因子の構造機能解析を例として、生化学的解析や X 線結晶構造解析を成功に導くためのタンパク質および核酸のコンストラクトデザイン戦略を紹介する。

(参考文献 : Nosaki S, *et al.* (2018) *Nature Plants*)

世話人 : 壽崎 拓哉 (T-PIRC 遺伝子実験センター)